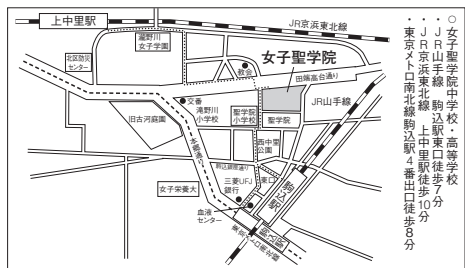


女子聖学院中学校

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 ☎03-3917-5377(広報室) 学校長 安藤 守



カリキュラムの特色

英語教育の新しい形～使える英語～

国際交流、国際理解教育の基本は、互いの違いを認め合い、尊重し合うことです。確かな知識や技能があっても思考力がなければコミュニケーションはできません。そのため、英語を通して理解し合える豊かな心を育てる英語教育を目指しています。

6人のネイティブ教員がおり、英語礼拝やイングリッシュラウンジでの会話を通して、日常的に英語に触れる環境があります。その他、英会話もネイティブが付き、1クラス2分割の習熟度別で実施し、生徒の力を伸ばしています。また、体験型のGlobal 3days Program(中1～高Ⅱ必修)で国際理解を深め、発信力を身につけています。

発信型女子を育てるプロジェクト学習

探究学習では、スクールモットー「神を仰ぎ人に仕う」を土台に「仕える人になる」を6年間のテーマに掲げ、「マイ・コンパスプロジェクト」に取り組みます。活動を通して、生徒たちは学びの成果を他者へ伝えることばをもち、自ら表現し社会に貢献できる人材へ成長します。電子黒板、iPadなどICTの環境も整い、各教科で能動的学習を行うことで、発信型女子を育てていきます。

生活指導・心の教育

「共に生きる」人として

年2回、中学では介助タオル、高校はおむつを全員で縫い、宗教委員が都内の施設に届けます。

その他、近隣のご高齢の方々とお花見会や夏期ボランティア、アジアキリスト教教育基金へ献金

今年の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください

(URL) <https://www.joshiseigakuin.ed.jp/>

沿革 女子聖学院は1905年に米国プロテスタント教会の女性宣教師によって創立されたミッションスクール。今年度は118周年を迎えます。スクールモットーは「神を仰ぎ 人に仕える」。2022年4月に第11代校長 安藤守が就任しました。

教育方針・校風

Be a Messenger

～語ることをもつ人を育てます～
「自分のよさを見出す」

毎朝の礼拝を通して、神様に愛されているかけがえのない自分と向き合い、生かされている喜びと感謝の思いを6年間通して培っています。

「グローバルマインドが育つ」

“もっと知りたい”を引き出す授業、“生徒が主体”の学校行事、“本当のチーム”になる学年プログラム、“一人ひとりの未来”を見据える探究活動などを通して、自分に与えられている賜物(良きもの)を見出し、互いの違いを認め合える学びと経験を大切にしています。

「ボーダレスの時代に生きる教育」

文化や生活習慣などの違いを超えて、互いの理解を深めることがますます重要になります。多くの友達と出会い、共に学び、異なる意見を聴き、自分の考えを深めていくことによって、知識は深まり、広い考えが生まれてきます。

「自分のことばで発信する教育」

学びを通して、自分に与えられた使命を他者のために活かしていくために、豊かなことばを持ち、社会に対して進んで発信できる女性を育てます。

2期制 週6日制 登校時刻 8:20 昼食 弁当持参、食堂、売店

など、さまざまな形で「共に生きる」人としての関わりを持っています。

進路指導

進路教育は「社会の必要を知り、遣わされた場でリーダーとして立つ女性」を育てることを目指し、目標を明確にした授業や無料の課外講座「JSG講座」、視野を広げる進路プログラム(ライフプランニング、校内大学説明会、卒業生による進路講演など)を実践しています。また「JSGラーニングセンター」では19時までチューターのサポートを受けながらの自学習ができます。

■進学状況 2023年3月卒業生(120人)の合格実績は、国立大が2人、早・慶・上智・ICU・三女子大が18人、GMARCHが20人。

学校行事・クラブ活動

入学式、創立記念、クリスマス、卒業式などは礼拝形式で行います。運動会、記念祭は中高合同です。運動会は高校生が中学生を指導して、3チーム対抗で競います。記念祭(文化祭)では、生徒による実行委員会が広報局、事務局、企画局に分かれて運営しています。

宿泊行事としては中1翠の学校、中3北海道旅行、高2修学旅行など。希望者のみの宿泊行事は、英語キャンプ、理科見学旅行、社会科旅行、高1米国ホムステイ、夏期ボランティアなど。このほか、校外学習として鎌倉見学、裁判所見学、歌舞伎鑑賞など教科ごとに工夫しています。

クラブは必修ではありませんが、活発です。

データファイル

2024年度入試日程

中学校 帰国生入試は11/29

| 募集人員 | 出願期間 | 試験日 | 発表日 | 手続締切日 |
|-------------|-----------|-------|-----|--------------------------|
| 1回 50 | 1/10～1/31 | 2/1 | 2/1 | 2/6 (公立中高一貫校受験者は2/10) |
| スカラ(2回) ※30 | 1/10～1/31 | 2/1午後 | 2/1 | |
| 3回 20 | 1/10～2/1 | 2/2午後 | 2/2 | |
| 4回 10 | 1/10～2/2 | 2/3 | 2/3 | |
| 5回 10 | 1/10～2/2 | 2/3午後 | 2/3 | |
| 6回 10 | 1/10～2/3 | 2/4午後 | 2/4 | |
| BaM・英語 各10 | 1/10～1/31 | 2/2 | 2/2 | |

※成績優秀者10人をスカラシップ合格。一般合格あり。4回も成績優秀者にスカラシップ合格が認められる場合がある

高等学校 募集を行っていません

2024年度選考方法・入試科目

中学校
1回・4回：2科か4科 スカラシップ(2回)・3・5・6回：2科 英語表現力：リスニング(英検3級程度)、英語課題文の暗誦、英語による自己紹介、算数基礎、面接(日本語) BaM表現力：国語基礎、算数基礎、自己紹介、面接
帰国生：算数基礎、作文、面接、書類
(配点・時間) 国・算＝各100点50分 理・社＝各100点30分 ※1・4回は4科のうち最高得点の科目を2倍 英語表現力・BaM表現力＝各240点 帰国は算数基礎＝80点50分、作文＝80点40分
(面接) 英語表現力とBaM表現力は生徒個人と保護者同伴、帰国生は保護者同伴

2023年春併設大学への進学

併設大学へ強く入学を希望する者は進学できます。

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください

聖学院大学-1(政治経済)

■指定校推薦枠のある主な大学
青山学院大 立教大 法政大 学習院大 国際基督教大 明治学院大 東京女子大 津田塾大など

2023年春卒業生進路状況

| 卒業生数 | 大学 | 短大 | 専門学校 | 海外大 | 就職 | 進学準備他 |
|------|------|----|------|-----|----|-------|
| 120人 | 104人 | 1人 | 8人 | 2人 | 0人 | 5人 |

2023年度入試結果

| 中学校 | | | | | | |
|--------|------|-------|-------|-------|---------|--|
| 募集人員 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 競争率 | | |
| 1回 | 50 | 33/34 | 32/28 | 10/17 | 3.2/1.6 | |
| スカラシップ | 30 | 92 | 81 | 32 | 2.5 | |
| 2回 | 20 | 123 | 79 | 47 | 1.7 | |
| 3回 | 10 | 51/65 | 28/29 | 13/22 | 2.2/1.3 | |
| 4回 | 10 | 110 | 45 | 34 | 1.3 | |
| 5回 | 10 | 9 | 3 | 2 | 1.5 | |
| 英語表現力 | 10 | 4 | 2 | 1 | 2.0 | |
| BaM表現力 | 10 | 127 | 34 | 24 | 1.4 | |

学校説明会 要予約 *はAM・PM開催
説明会 9/16 11/18*
自己表現ワークショップ+表現力入試説明会 9/30 11/25
入試問題早期対策会 10/7 10/14 10/21
入試体験会 12/2
入試直前講座 1/13 1/20
見学できる行事 要予約
記念祭(文化祭) 11/2・11/3
個別相談・ミニ説明会あり